

Play Framework

・ といったメリットがあるのか

①Ruby on Railの心

1. 繰り返しを避けよ(DRY : Don't repeat yourself)
2. 設定より規約 (Convention over Configuration)

「**繰り返しを避けよ**」これは「**1つのことを表すのに、記述箇所を1つに限定する**」という考え方である。重複のないコードに起動修正できることが大切で、**リファクタリングしやすいフレームワーク**であることが重要である。

「**規定より規定**」これは今までのJavaのWebフレームワークはXMLなどの設定ファイルを中心に駆動する仕組みだった。しかし、この方法では規模が大きくなればなるほど設定ファイルの記述量が増え、設定ファイルが膨大になってしまい管理が難しくなる。「設定より規約」とは、**フレームワークで一定のルールを定め、それに従うことで設定ファイルを書かなくとも動く仕組みを提供するもの**である。

②テスト環境の充実

リファクタリングしても変更の誤りを確認するためのテスト環境が充実している。具体的には、**テンプレートやコントローラまでテストできるライブラリ、環境別（本番・開発環境などの切り替え）に画面表示を変更できる**ため、開発時には詳細なエラー情報の出力ができる。これにより**コードの重複を避け、メンテナンス性の高いコードを実現できる**。

③軽量なエディタで開発可能

Play FrameworkはRubyの心を元に設計されているがJavaとRubyではコンパイルを要する言語とスクリプト言語という差がある。Javaはソース変更の度にビルドしなおす必要があるのも手間がかかる。通常は開発環境でそのあたりを処理できるがIDE自体が負担が大きい。しかしPlay FrameworkではRubyに近い操作感を得られるように工夫されているため**ソースが更新されると即座に変更が反映されるようになっている**。現在ではIDEでの開発が主流だが、フレームワークにこういった機能があるため、**IDEがなくても軽量なエディタだけで開発が可能**である。